

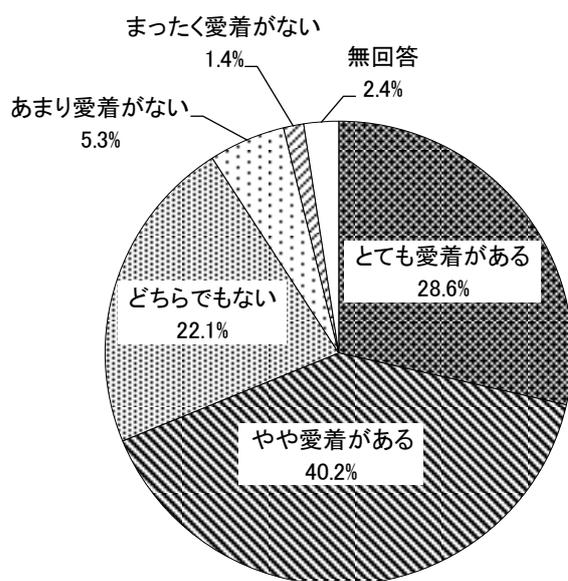
## 4 栃木県への愛着と誇りについて

### (1) 栃木県に対する愛着

問13 あなたは、「栃木県」に対してどの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

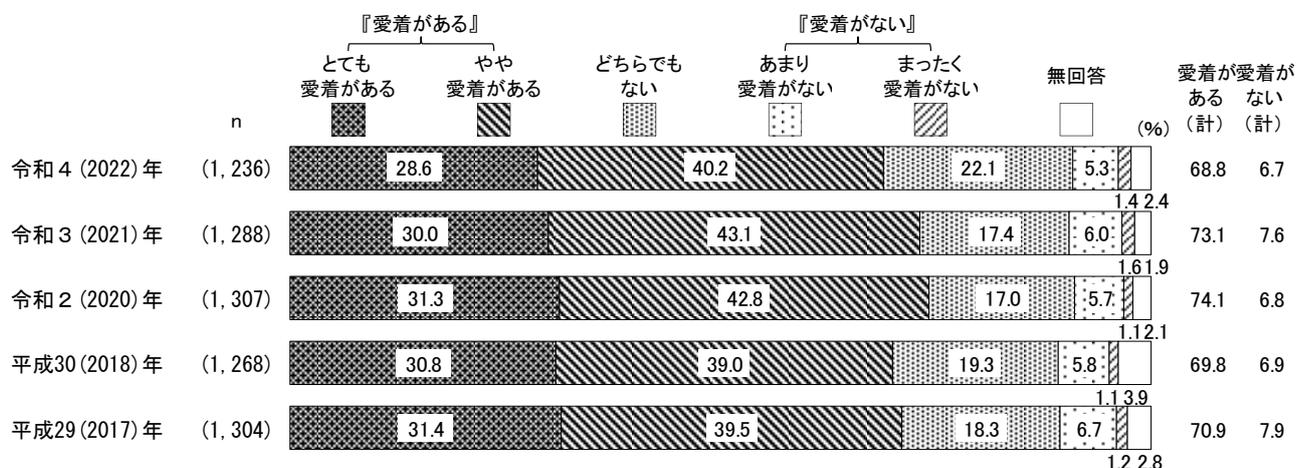
[n=1,236]

1	とても愛着がある	28.6%	4	あまり愛着がない	5.3%
2	やや愛着がある	40.2%	5	まったく愛着がない	1.4%
3	どちらでもない	22.1%		(無回答)	2.4%

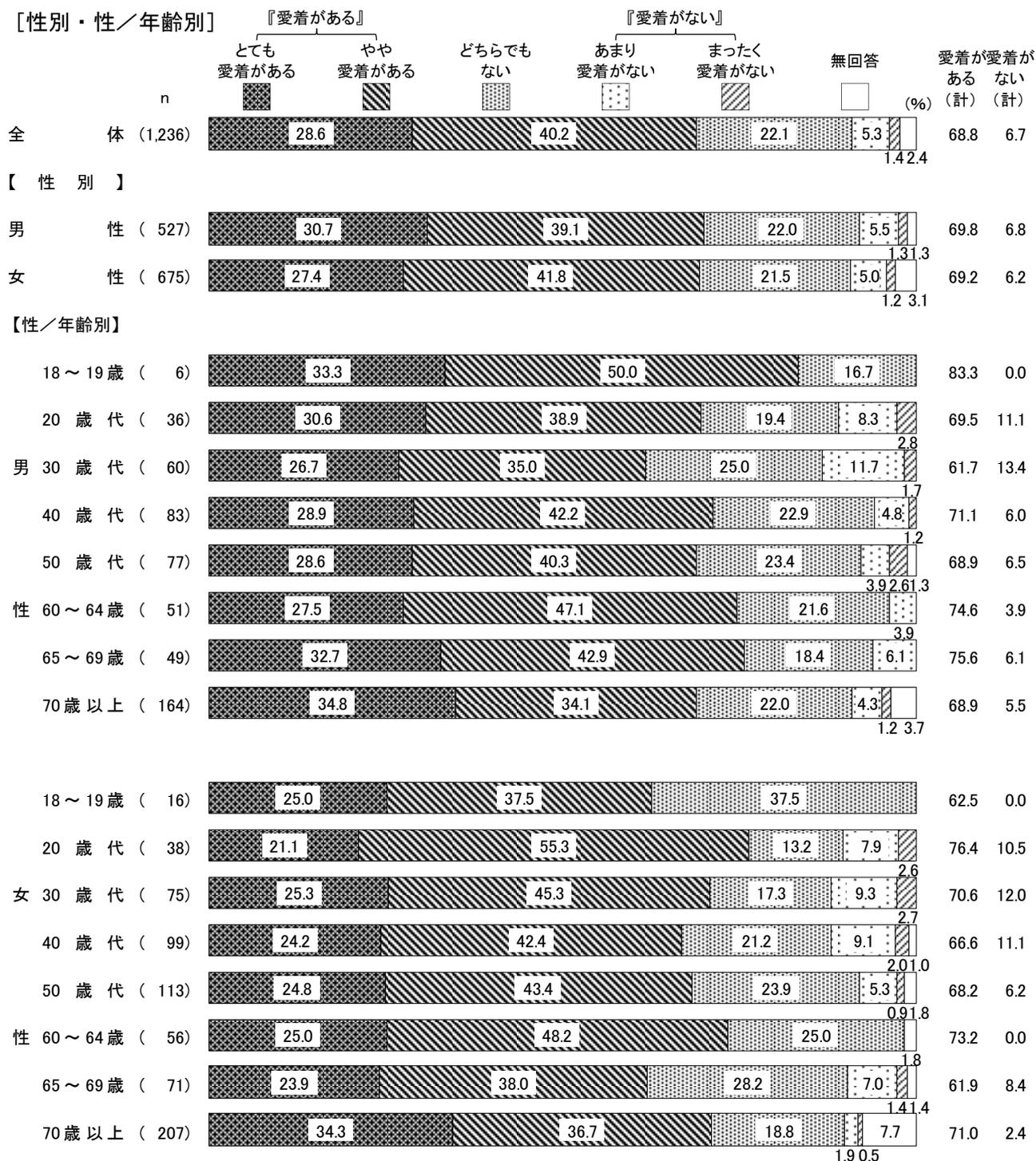


(n=1,236)

全体でみると、「とても愛着がある」(28.6%)と「やや愛着がある」(40.2%)の2つを合わせた『愛着がある』(68.8%)が7割近くとなっている。一方、「あまり愛着がない」(5.3%)と「まったく愛着がない」(1.4%)の2つを合わせた『愛着がない』(6.7%)が1割未満となっている。また、「どちらでもない」(22.1%)が2割強となっている。



過去の調査結果と比較すると、『愛着がある』が前回(令和3(2021)年)より4.3ポイント減少している。

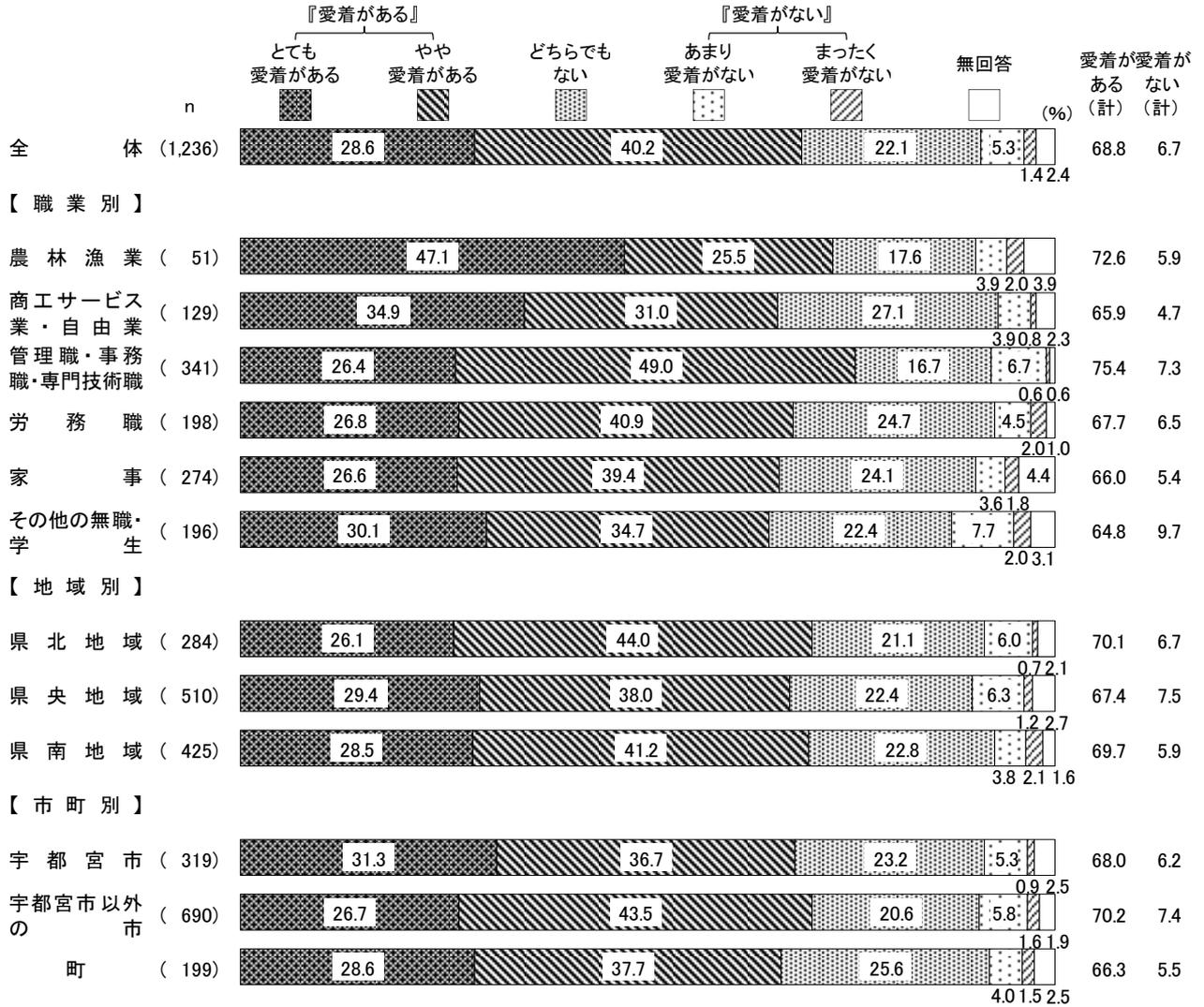


性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「とても愛着がある」では〈男性70歳以上〉が34.8%、〈女性70歳以上〉が34.3%と高くなっている。

『愛着がある』では〈女性20歳代〉が76.4%、〈男性65～69歳〉が75.6%、〈男性60～64歳〉が74.6%と高くなっている。一方、『愛着がない』では〈男性30歳代〉が13.4%、〈女性30歳代〉が12.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「とても愛着がある」では〈農林漁業〉が47.1%と高くなっている。  
 地域別・市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

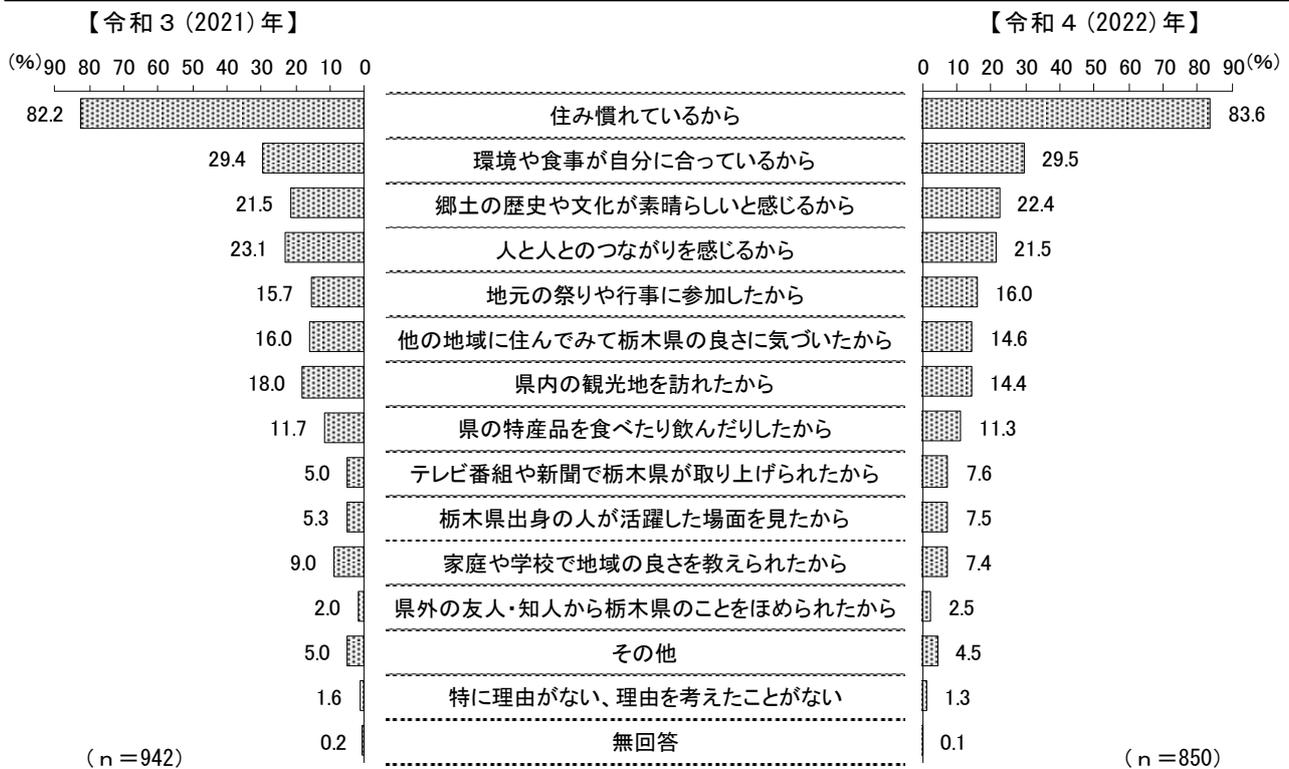
## (2) 栃木県に愛着を感じる理由

(問13で選択肢「とても愛着がある」、「やや愛着がある」を選んだ方のみお答えください)

問14 あなたが愛着を感じる理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

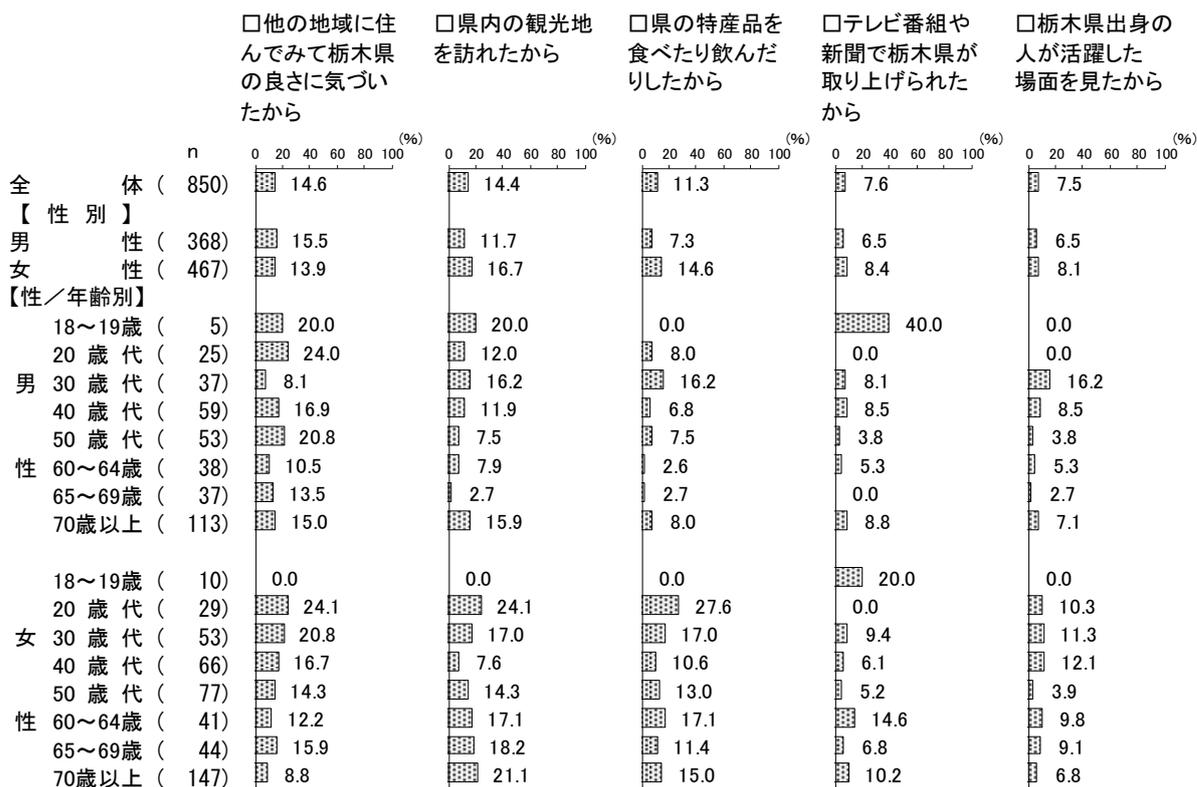
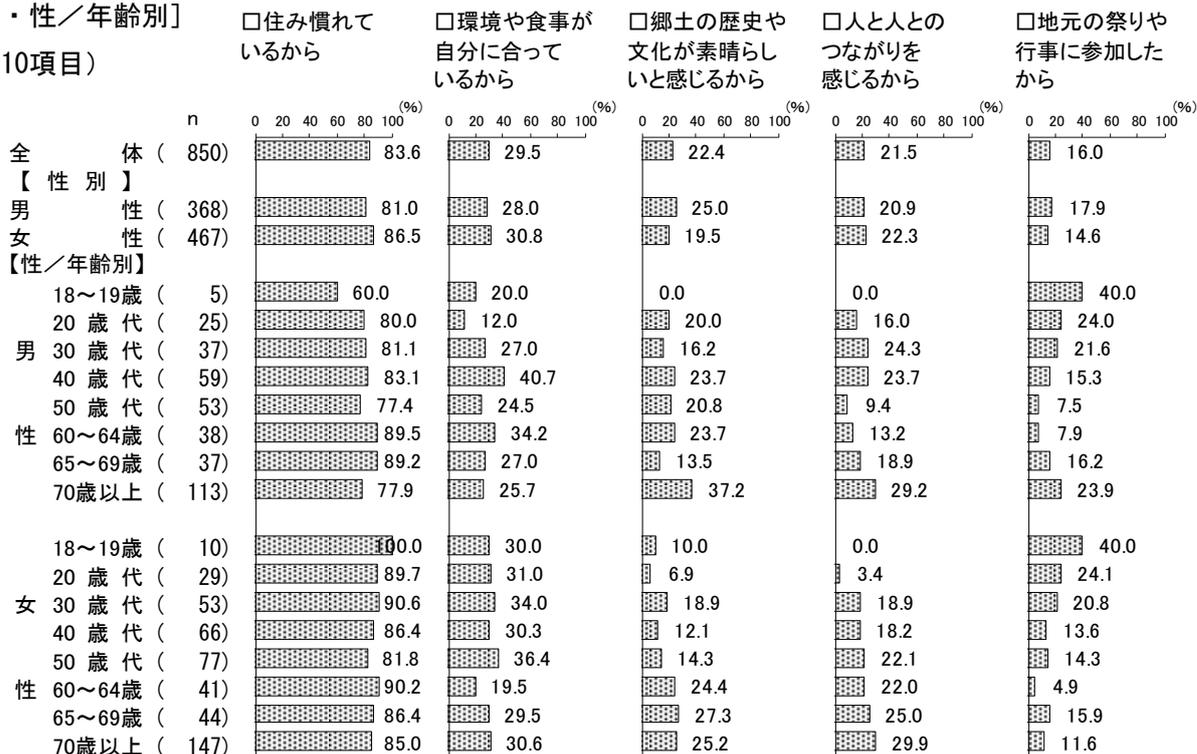
[n = 850]

1	地元の祭りや行事に参加したから	16.0%
2	家庭や学校で地域の良さを教えられたから	7.4
3	郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから	22.4
4	他の地域に住んでみて栃木県の良さに気づいたから	14.6
5	住み慣れているから	83.6
6	人と人とのつながりを感じるから	21.5
7	環境や食事が自分に合っているから	29.5
8	テレビ番組や新聞で栃木県が取り上げられたから	7.6
9	県外の友人・知人から栃木県のことをほめられたから	2.5
10	県内の観光地を訪れたから	14.4
11	県の特産品を食べたり飲んだりしたから	11.3
12	栃木県出身の人が活躍した場面を見たから	7.5
13	その他	4.5
14	特に理由がない、理由を考えたことがない	1.3
	(無回答)	0.1



全体で見ると、「住み慣れているから」(83.6%)が8割台半ば近くで最も高くなっている。前回(令和3(2021)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

[性別・性／年齢別]  
(上位10項目)

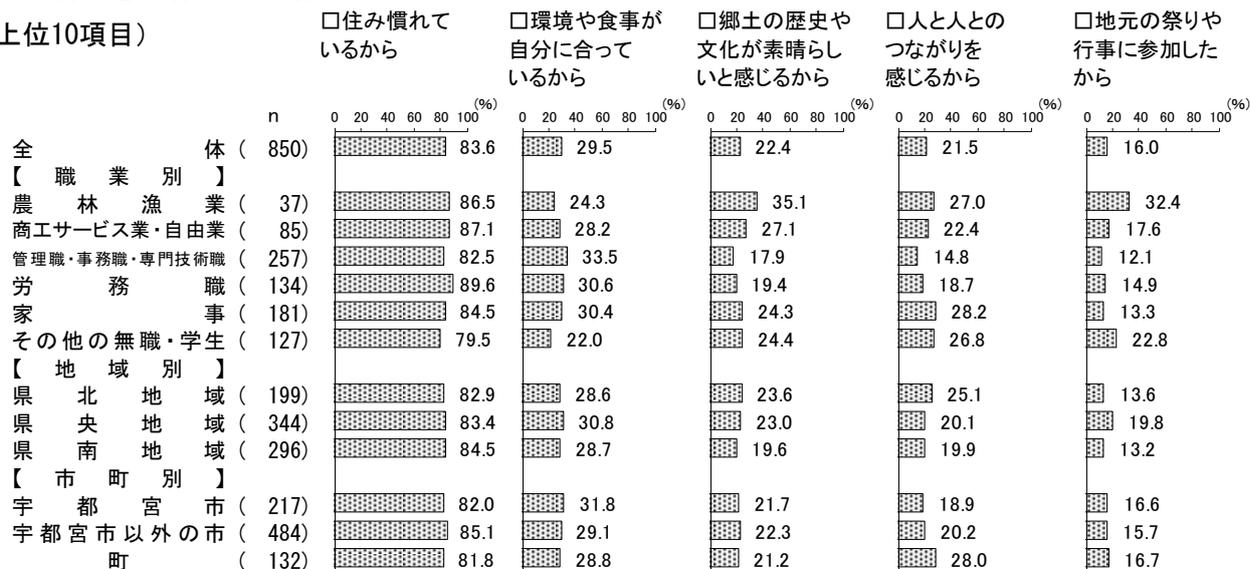


性別でみると、「県の特産品を食べたり飲んだりしたから」では〈女性〉(14.6%)が〈男性〉(7.3%)より7.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「環境や食事が自分に合っているから」では〈男性40歳代〉が40.7%と高くなっている。「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」では〈男性70歳以上〉が37.2%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」では〈農林漁業〉が35.1%と高くなっている。「人と人とのつながりを感じるから」では〈家事〉が28.2%、〈農林漁業〉が27.0%、〈その他の無職・学生〉が26.8%と高くなっている。「地元の祭りや行事に参加したから」では〈農林漁業〉が32.4%と高くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

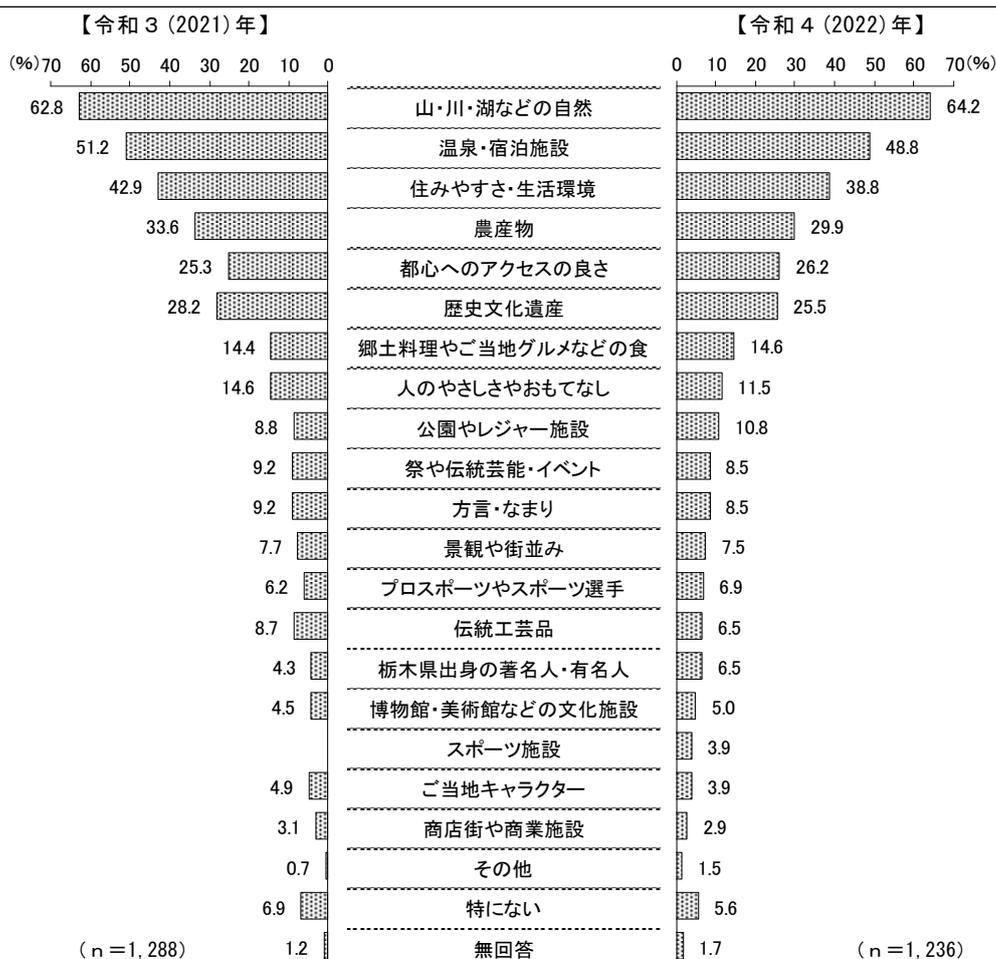
市町別で見ると、「人と人とのつながりを感じるから」では〈町〉が28.0%と高くなっている。「県の特産品を食べたり飲んだりしたから」では〈宇都宮市〉が18.0%と高くなっている。

### (3) 栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの

問15 あなたが栃木県の魅力として自慢できるものは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,236]

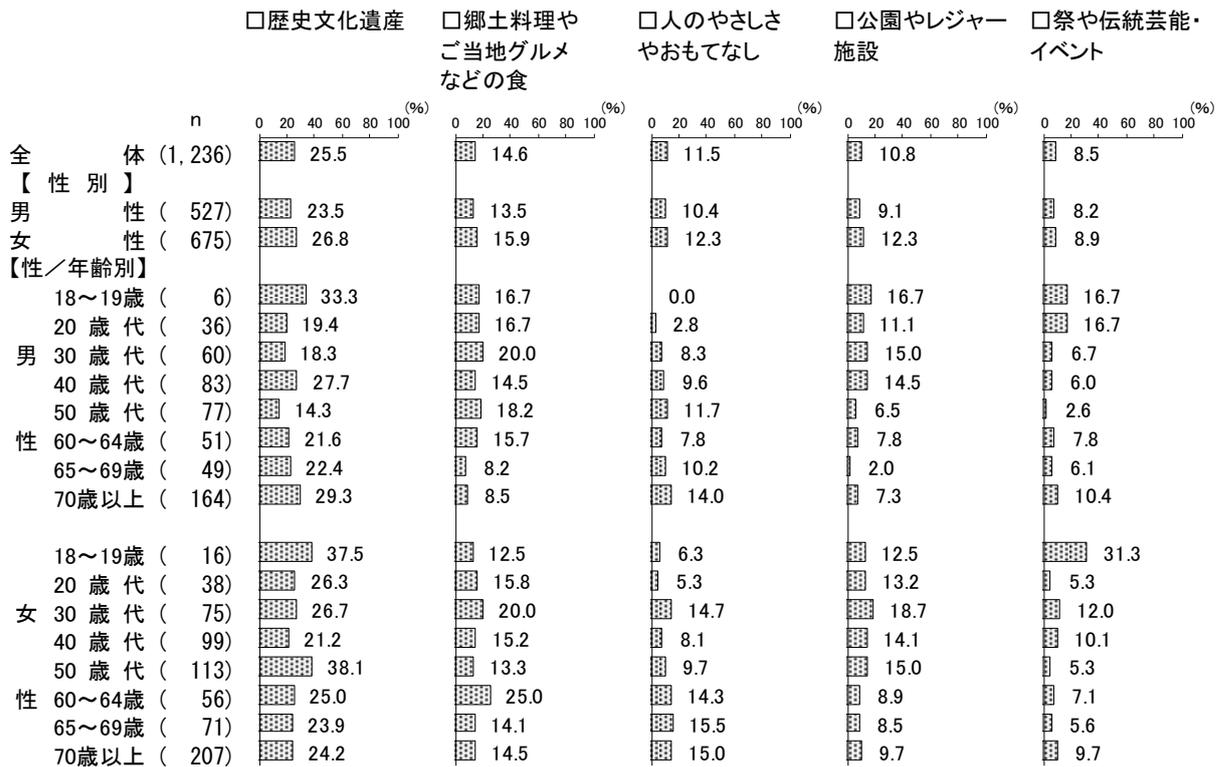
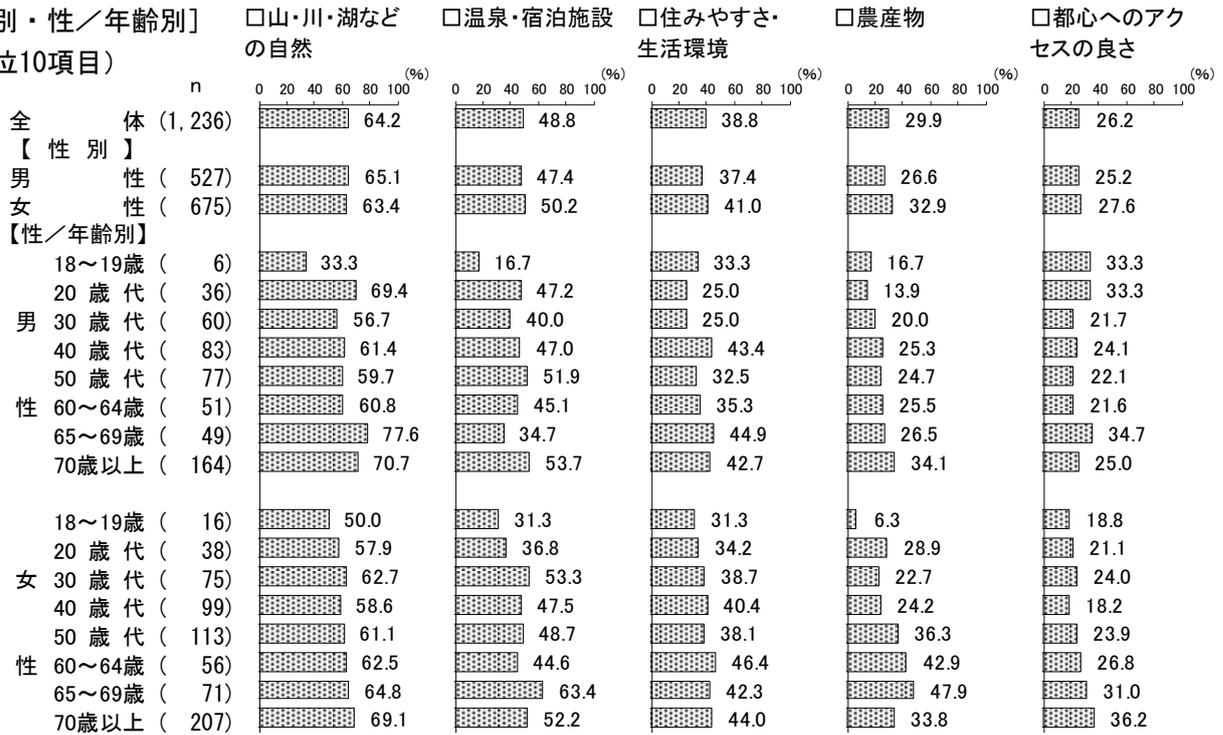
1	山・川・湖などの自然	64.2%	12	郷土料理やご当地グルメなどの食	14.6%
2	温泉・宿泊施設	48.8	13	人のやさしさやおもてなし	11.5
3	公園やレジャー施設	10.8	14	方言・なまり	8.5
4	スポーツ施設	3.9	15	住みやすさ・生活環境	38.8
5	商店街や商業施設	2.9	16	都心へのアクセスの良さ	26.2
6	博物館・美術館などの文化施設	5.0	17	ご当地キャラクター	3.9
7	祭や伝統芸能・イベント	8.5	18	プロスポーツやスポーツ選手	6.9
8	景観や街並み	7.5	19	栃木県出身の著名人・有名人	6.5
9	歴史文化遺産	25.5	20	その他	1.5
10	伝統工芸品	6.5	21	特にない	5.6
11	農産物	29.9		(無回答)	1.7



全体でみると、「山・川・湖などの自然」(64.2%)が6割台半ば近くで最も高く、次いで「温泉・宿泊施設」(48.8%)、「住みやすさ・生活環境」(38.8%)、「農産物」(29.9%)、「都心へのアクセスの良さ」(26.2%)、「歴史文化遺産」(25.5%)の順となっている。

前回(令和3(2021)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

[性別・性／年齢別]  
(上位10項目)

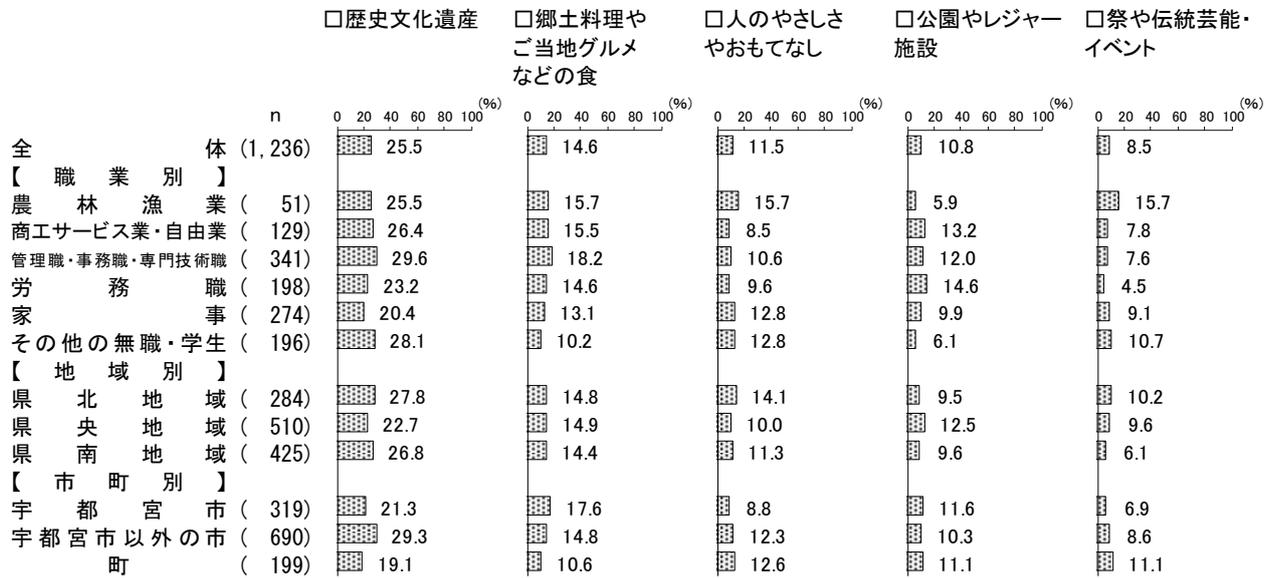
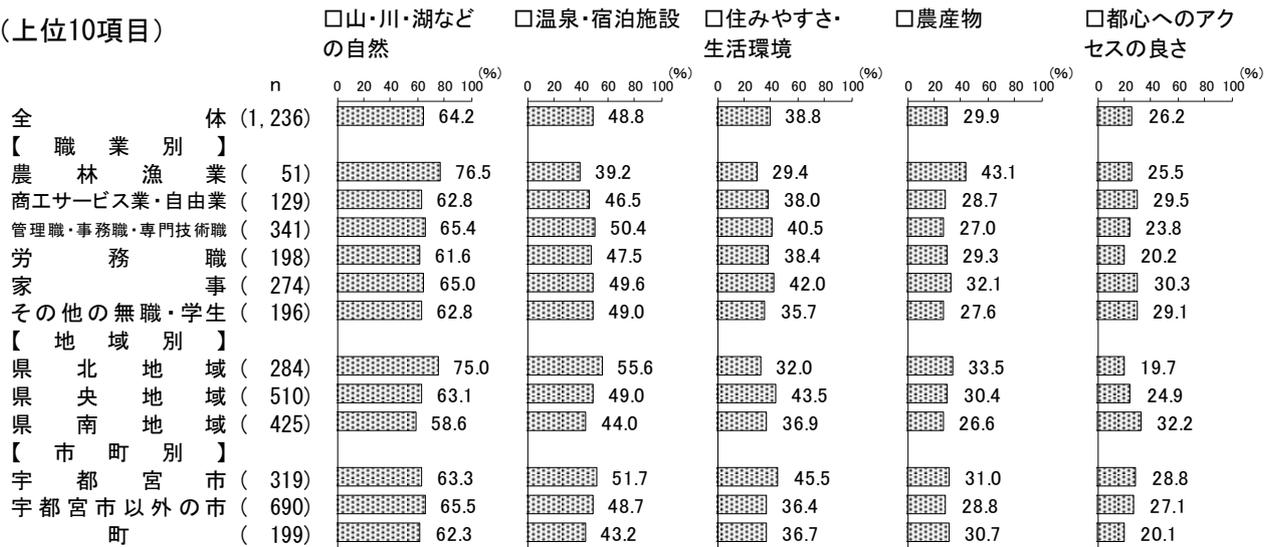


性別でみると、「農産物」では〈女性〉(32.9%)が〈男性〉(26.6%)より6.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「山・川・湖などの自然」では〈男性65～69歳〉が77.6%と高くなっている。「温泉・宿泊施設」では〈女性65～69歳〉が63.4%と高くなっている。「農産物」では〈女性65～69歳〉が47.9%、〈女性60～64歳〉が42.9%と高くなっている。「都心へのアクセスの良さ」では〈女性70歳以上〉が36.2%と高くなっている。「歴史文化遺産」では〈女性50歳代〉が38.1%と高くなっている。「郷土料理やご当地グルメなどの食」では〈女性60～64歳〉が25.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別でみると、「山・川・湖などの自然」では〈農林漁業〉が76.5%と高くなっている。また、「農産物」では〈農林漁業〉が43.1%と高くなっている。

地域別でみると、「山・川・湖などの自然」では〈県北地域〉が75.0%と高くなっている。「温泉・宿泊施設」では〈県北地域〉が55.6%と高くなっている。「都心へのアクセスの良さ」では〈県南地域〉が32.2%と高くなっている。

市町別でみると、「住みやすさ・生活環境」では〈宇都宮市〉が45.5%と高くなっている。